

理想的な図書館のカタチ

C1240285 伊藤 雅敏

私の考えるこれまで以上に利用したくなる図書館は、①利用中に館内で飲み物を自由に飲むことができる。②Wi-Fiの設備がしっかりしている。③個室が設置してある。以上の三つを満たしている図書館です。なぜその三つを追求するのかというと、私自身、昨年までは受験生でした。家では勉強に身が入らなかったため、近くの図書館や勉強スペースを使用していることがほとんどでした。利用中に感じた課題が三つあり、それをもとに今回は考えていきます。

①の課題：館内は飲食全般が禁止になっていたことによって、勉強中の水分補給のための時間を勉強時間から割かなければいけなかった点。

②の課題：インターネットの環境が悪くなく、電子機器の使用感が自宅よりも劣ってしまっている点。

③の課題：人の声と人からの視線などが気になってしまい、勉強に集中できない時があった点。

以上の三つが挙げられます。①の課題として飲み物が館内の資料に付着した場合の問題が存在しますが、資料を電子化すればその問題は解決できると思いました。また今の時代は電子機器が普及しているのもあり、資料の電子化によって①～③以外の図書館の課題である若い人たちの図書館の利用率改善にも繋がると考えました。理由としては、年代が若くなればなるほど本よりもインターネットを用いて行っていることのほうが多いと感じたからです。また今の時代はペーパーレスという言葉もあり環境の面を考えた時にも資料の電子化が有効であると感じました。

②の課題の改善方法として、自分でモバイルバッテリーなどのインターネットに接続できる機器を持参するもしくは、館内にネット環境を整備することが改善策として挙げられます。理由として、図書館や建物の場所の移動は物理的に考えても無理に等しいものであるためです。インターネットは立地している場所の周辺環境にも左右される物でもあるので、場所を変えるか、自分でインターネットの環境を変えられるアイテムを自分で持参することで環境を変化させることが可能です。

③の課題としては個室を何個か設置して本を読むスペース、勉強するスペースとして使用できるようにするのが良いと考えました。理由として、一人で勉強や読書をしたい時に使用できるスペースが必要であるからです。昨年勉強等で図書館を使用していて、足音や人影で集中力が途切れてしまうことがありました。個室を設置することで集中力の課題改善につながると考えました。また、予約制にすることで、利用者の増加にもつながると考えました。

以上が、私が考える今まで以上に利用したくなる図書館のカタチです。